

○敷地及建物

第一 敷地

一 第四高等學校敷地	金澤市仙石町三十七番地	二二、五一三・九六六 <sup>坪</sup>
	金澤市殿町六十五番地	一、五八四・九〇〇
	全市梅本町東横丁六番地	二〇四・〇〇〇
	全 八番地ノ内	三三・二〇〇
	全 九番地ノ一ノ内	二一・四〇〇
	全 九番地ノ三	五〇・〇〇〇
小計		一、八九一・五〇〇

通計

第二 建物

一本館	煉瓦造	三二三・〇八三 <sup>坪</sup>
一東館	木造	一八八・〇〇〇
		二四、四〇五・四六六

敷地及建物



一 勸植物教場	木造	九九・五〇〇
一 講堂及生徒扣所	木造	二五四・二四九
一 物理化學教場	煉瓦造	二九・五〇〇
	木造	三四二・〇〇〇
一 醫學科教場	煉瓦造	四〇・〇〇〇
	木造	三九八・六六六
一 藥學科教場	木造	一八七・四一七
一 靜勝館	木造	一七二・〇〇〇
一 無聲堂	木造	七七・〇〇〇
一 時習寮	煉瓦造	二・二五〇
	木造	二九六・二五〇
一 諸建物	木造	一一一・〇四〇
	煉瓦造	三九四・八三三
小計		

一 臨床講義場	木造	二、一三六・一二二
	木造	七五二・四七〇
通計	煉瓦造	三九四・八三三
	木造	二、八八八・五九二



附録

○時習寮生申合諸件

第一 時習寮箴規

(明治三十二年二月十一日創定)

凡寮生タル者ハ吾校生徒心得ノ趣旨ヲ体シ至誠以テ智ヲ啓キ徳ヲ修ムルノ基ト造スヘシ故ニ

心意ヲ誠ニシ容儀ヲ正ウシ言語ヲ慎ミ苟クモ輕躁不遜ノ行爲アル可ラス

儉素ヲ崇ミ奢侈ヲ戒シメ質樸ニ就キ須ラク其分限ヲ守ル可シ

攝生ヲ慎ミ飲食ヲ節シ室内ヲ清潔ニシ起臥出入等其時ニ違フ可ラス

常ニ父母ノ安否ヲ懷ヒ狀況ヲ告ケ其心ヲ慰ムヘシ

時習ノ餘暇ニハ武技運動ヲ勵ミ蠻外ニ出テハ遊佚漫戯ス可ラス

該箴規ハ生徒心得ノ階梯タリト雖モ之ニ由リテ躬行實踐セハ其レ差



ハサルニ庶カラン

第二 箴規朗讀規約

- 一 箴規朗讀ハ每週月曜日ニ之ヲ行フ
- 一 當日朝飯前一定ノ時刻ニ於テ寮務當直員及寮生一同食堂ニ參集シ各自指定ノ場所ニ整列ス
- 一 週番室長ハ寮務當直員ノ前ニ出テ朗讀ヲ爲シ一同敬禮ノ後各自食卓ニ就ク
- 一 毎年二月十一日(紀元節)ヲトシテ箴規創定ノ紀念朗讀式ヲ舉行ス

第三 時習寮生規約

第一章

- 第一條 時習寮生タルモノハ本校校則生徒心得ノ趣旨ヲ体認シテ專ラ其躬行實踐ヲ旨トスヘシ
- 第二條 寮生ハ寮ノ内外ヲ問ハス制服若クハ袴ヲ着用スヘシ

第三條 自修時間ハ音讀雜談放歌高吟遊戲等苟クモ喧躁ニ涉リ各自ノ學習ヲ妨ケ寮内ノ風紀ヲ紊スカ如キ動作アルヘカラス

但就褥時間ハ本條ニ依準シテ安眠ノ妨ナキヲ要ス

第四條 寢室及自修室ハ其室員交互輪番ヲ以テ便宜清潔ニ掃除スヘシ

第五條 外出スル者ハ必ス製帽ヲ戴キ自ラ門鑑ヲ門衛ニ渡シ歸寮ノ際之ヲ持チ歸ルヘシ

第六條 歸寮門限ニ遲刻シタル者ハ其行先ヨリ證明書ヲ受ケ翌日中ニ其室長連署ヲ以テ學生課ニ届出ツヘシ

但證明書ヲ得ル能ハサル場合ニ於テハ週番室長ノ證明ヲ要ス

第七條 止ムヲ得サル事故ノ爲メ外泊シタル者ハ其外泊當日ヨリ二日以内ニ宿泊先ノ證明書ヲ添へ保證人週番室長及其室員全体ノ連署ヲ以テ學生課ニ届出ツヘシ



但修學旅行又ハ端艇ノ爲メ宿泊シテ歸寮スル者ニ限り保證人ノ證明ヲ要セサルモ週番室長ニ於テ必要ト認メタルトキハ必ス保證人ノ證明書ヲ差出サシムヘシ

第八條 臨時外出セント欲スル者ハ其室長ニ其旨ヲ告ケ學生課ニ申出ツヘシ

第九條 缺課シタル者ハ其室員連署ノ上學生課ヲ經テ届出ツヘシ

第十條 退寮セント欲スル者ハ其理由ヲ明記シ其室長及週番室長ヲ經テ其願書ヲ學生課ニ差出スヘシ尤モ其理由顯著ナルニ非サレハ退寮スルヲ得ス若シ疾病ノ故ヲ以テ退寮セント欲セハ豫メ本寮所屬醫員ノ診斷書ヲ受ケ其願書ニ添附スヘシ

但事故又ハ疾病ニヨリ下宿セントスル者モ亦本條ニ依準スルモノトス

第十一條 室内ノ整理ニ關シテハ其室員連帶ノ責任トシ室員ノ行爲

ニ關シテハ先ツ其室員全体責善ノ義務ヲ有ス若シ此規約ニ背ク者アルトキハ第三章第十六條ニ依リ其情狀ヲ酌量シテ學生相互ノ制裁ヲ當人ニ加ヘ又場合ニ依リテハ其室員全体ニ加フヘシ

第二章

第十二條 室長ハ其室ノ整理ニ任ス

但室長不在ノ時ハ其室員一名之カ代理ヲナスモノトス

第十三條 室長ハ室員ノ互選ニ依リテ定メ校長ノ認可ヲ受クヘシ其任期ハ一學期トス

但室長ニ選舉セラレタル者ハ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第十四條 各室長ハ每週三名宛室順ニ依リテ交代シ自修時間中ハ必ス週番室ニ在リテ週番ノ任ニ當リ特ニ他ノ室長ヲ代表シ併セテ此規約履行ノ責ニ任スルモノトス

第十五條 室長ハ人員點檢ノ鐘鳴ヲ期シ自修室前ニ於テ其人員ヲ檢



查シ更ニ學生課ノ點檢ヲ受クヘシ

第三章

第十六條 寮生相互ノ制裁ヲ分チテ戒飭禁足及諭告退寮ノ三種トス  
但此制裁ハ懇々忠告善道ノ情誼ヲ盡シ毫モ之ヲ用ヅサル場合ニ  
至リテ加フルモノトス

第十七條 寮生相互ノ制裁ハ學生課ノ臨席ヲ請ヒ各室長及臨時制裁  
事件調査委員ニ於テ熟議ノ上其執行ヲ舍監ニ申請スルモノトス  
但此場合ニ於テハ寮生全体中ヨリ本文ノ調査委員十二名ヲ互選  
スヘシ

第四章

第十八條 入寮ノ志願者アル時ハ其許否ニ關シテ各室長ハ室長會議  
ニ於テ意見ヲ述フヘシ

第十九條 來訪者アルトキハ本校生徒タルト否トヲ問ハス必ス應接

所ニ於テ之ヲ爲シ自修室ニ誘引スヘカラス

但病褥ニ在ルトキハ學生課ノ指揮ヲ受クヘシ

第二十條 食事委員ハ各室順番ニ其任ニ當リ食事ニ關スル一切ノ事  
ヲ監督辨理スヘシ

但其任期ハ一週間トス

第二十一條 寮生ハ火災ヲ警戒防禦スル爲メ消防部伍ヲ編成ス其方  
法ハ別ニ之ヲ定ム

第二十二條 寮生ハ居常ノ親睦ヲ厚クスル爲メ茶話會ヲ設ク其方法  
ハ別ニ之ヲ定ム

但茶話會ヲ開クノ期日ハ毎月一回當番室員ニ於テ便宜之ヲ定メ  
諸事幹旋ノ任ニ當ルモノトス

第二十三條 此規約ニ明記セサル事件ニ就テハ室長會議ノ上學生課  
ヲ經テ臨機校長ノ指揮ヲ仰クヘシ



第二十四條 此規約ノ條項ニシテ改正増補ヲ要スルトキハ寮生一般ノ決議ニ依リ學生課ヲ經テ其認可ヲ校長ニ仰クヘシ

第二十五條 在寮生ハ此規約ヲ知ラサルヲ以テ口實トシ之ニ違フコトヲ得ス

第四 時習寮生茶話會々則

第一條 時習寮生ハ規約第二十二條ノ趣旨ニ依リ室内便宜ノ場所ニ於テ茶話會ヲ開ク

但臨時之ヲ開クコトアルヘシ

第二條 本校ノ職員及教員ニシテ此會ノ主旨ヲ賛成セラル、トキハ之ヲ賛成員ニ推戴スヘシ

第三條 寮生ハ會費トシテ出席不出席ヲ問ハス毎月三錢ヲ醸出スルモノトス

但其収入方ハ附屬ノ賄方ニ囑托シテ之ヲ翌月初旬食料ト共ニ取

立テシムヘシ

第四條 寄附金及會費仕拂ノ決算ハ春秋二季ニ於テ之ヲ報告スルモノトス

第五條 本會ハ費用ヲ節約スル爲メ附屬蔬菜園ヲ設クルコトアルヘシ

但之ニ關スルコトハ適宜之ヲ定ム

第五 蔬菜園規則

第一條 時習寮東北ノ地一部ヲ借用シテ蔬菜園トナス

第二條 該園ノ播種栽培耕鋤收穫等ハ寮生之ヲ擔任ス但時宜ニ依リ臨時農夫ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第三條 該園ヲ三分シ東部中部西部トシ東部ハ第一第二第十二第三室員之ヲ擔當シ中部ハ第三第四第五第十一室員之ヲ擔當シ西部ハ第六第七第八第九第十室員之ヲ擔當シ其各部員ハ四人或ハ五人



每週二回輪番ヲ以テ之ニ從事スヘシ  
但播種栽培收穫等多人數ヲ要スル節季ニ於テハ各室員一同之ヲ  
補助スルモノトス

第四條 農事用ノ器具ハ大切ニ取扱ヒ清潔ニ掃除シ必ス一定ノ場所  
ニ納メ置クヘシ

第五條 該園ノ生産物ハ茶話會ノ用ニ充ツルモノトス

第六條 該園一切ノ費用ハ茶話會之ヲ支辨ス

第七條 栽花園ノ維持方モ亦此規則ニ依ルモノトス

第八條 蔬菜園及栽花園ノ狀況ハ毎年二回六月及十二月ヲ以テ之ヲ  
學生課ニ報告ス

第六 消防部伍編制

第一條 消防部伍ヲ左ノ如ク編制ス

東部隊 第一號室第二號室第十二號室第十三號室ノ各室員

中部隊 第三號室第四號室第五號室第十一號室同上

西部隊 第六號室第七號室第八號室第九號室第十號室同上

第二條 各部隊ニ役員ヲ置ク左ノ如シ

部長 一人 舍監若クハ學生課之ニ當ル

隊長 一人 各部隊ニ於テ之ヲ選舉ス

伍長 二人或ハ三人 各室ニ於テ一人宛之ヲ選舉ス

第三條 隊長及伍長ハ傳令ヲ掌ル

第四條 隊長及伍長ノ期限ハ一學年間トス

第五條 唧筒練習ノトキハ左ノ掛ヲ設ク其掛ハ各部隊ニ於テ之ヲ定

ム唧筒練習ハ毎月一回トス

用水掛 若干名

龍吐口掛 二名

使用掛 十名



第六條 某部方面ニ出火シタルトキハ其部ハ專ラ消防ニ從事シ他部ハ道具運搬ニ從事スヘシ

○生徒禁酒ニ付保證人ヘノ通牒

本校ハ九月以來本校生徒ノ酒ヲ飲ムコトヲ禁セムトス教育ノ事ハ學校ト家庭ト相頼リテ始メテ其功ヲ奏スヘキハ言ヲ待タサル所ニシテ飲酒ノ如キハ概テ校外業後ノ事ニ屬スレハ殊ニ諸君ノ同心協力ヲ望マサルヲ得ス

抑本校ニ來リ學フ者ハ皆必志ス所アリ本校亦致養其力ヲ惜マサルニ從來往々校規ニ觸レ學ヲ廢スル者アリシハ概歎ニ堪ヘサル所而シテ其原因ヲ繹ヌレハ竟ニ酒ニ歸スル者實ニ十七七八ナリ世或ハ酒ヲ以テ遣悶放懷ノ功アリトシ或ハ以テ俗禮交際ノ要品トスト雖モ人各境遇アリ責務アリ此ノ如キコトハ學生ノ要トスヘキ所ニアラサルナリ

夫ノ學生トシテ世ニ立チ人ニ接スル道心神ヲ爽ニシ志氣ヲ壯ニスル術ノ若キハ乃チ別ニ其方アラム

顧フニ是等ノ事蓋シ皆諸君ノ熟知セラル、所畢竟學フ者ト學ハシムル者ト教フル者トハ其執ル所異ナレトモ其期スル所ハ一ナリ故ニ教養ノ實ヲ舉ケムカ爲ニ施行スル所ノ事ハ即チ是レ諸君ノ意ナリトモ謂フヘクコトサラニ喋々スルノ要ナシト雖モ生員ノ衆多ナル其中或ハ飲酒ノ慣習久シキニ亘リ此禁ヲ守ルチ易カラストシ蟻穴漸ク高堤ヲ壞リ燄火終ニ廣原ヲ燒キテ他日ノ悔ヲナスモノアラムコトヲ恐ル是故ニ茲ニ特ニ諸君ニ喋シテ諸君ノ意ヲ督勵ニ致サレムコトヲ切望ス

明治三十三年八月 日

第四高等學校長 北條 時 敬

保證人宛



校內諸會々則

○第四高等學校校友會會則

第一條 本會ノ目的ハ第四高等學校職員生徒一致融和シテ家族的團體ト爲リ徳性ヲ涵養シ學藝ヲ講究シ身體ヲ練磨シ以テ本校ノ校風ヲ發揚シ教育ノ資助ト爲スニ在リ

第二條 本會ハ第四高等學校校友會ト稱ス

第三條 本會會員ハ左ノ二種ヨリ成ル

特別會員 通常會員

特別會員ハ本校職員ヨリ成リ通常會員ハ本校生徒ヨリ成ル

本校ノ卒業生其他本校ニ縁故アル者ハ贊助會員ト爲ルコトヲ得

本會ニ於テ特ニ名譽會員ヲ推戴スルコトアルヘシ

第四條 本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

學藝ニ關スル諸部ハ左ノ如シ



十全會 講話部 雜誌部  
 北辰會 講話部 演說討論部 語學部 雜誌部  
 運動ニ關スル諸部ハ左ノ如シ  
 弓術部 劍道部 柔道部 ベースボール部 ロンテニス部  
 フットボール部 遠足部 漕艇部  
 第五條 十全會諸部ハ醫學部ニ關係アル會員之ニ屬シ北辰會諸部ハ大學豫科ニ關係アル會員之ニ屬ス  
 十全會雜誌部ニ於テ十全會誌ヲ刊行シ醫學部關係ノ會員ニ頒チ北辰會雜誌部ニ於テ北辰會雜誌ヲ刊行シ大學豫科關係ノ會員ニ頒ツ  
 第六條 本會ニ於テ毎年春秋二季ニ大運動會ヲ開ク  
 第七條 會務ヲ整理スル爲メ左ノ役員ヲ置ク  
 會長一名 副會長一名 理事三名以内 書記若干名  
 會長ハ本會ヲ總理シ副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ之

ニ代リ理事ハ會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ掌理シ書記ハ理事ヲ助ケ會務ニ從事ス

第八條 各組ヲ代表スル爲メ左ノ役員ヲ置ク  
 代議員各組一名

代議員ハ協議會ニ列シ又ハ會長ノ諮詢ニ應ス

第九條 部務ヲ整理スル爲メ各部ニ左ノ役員ヲ置ク

委員長一名 委員若干名

委員長ハ會長ノ命ヲ受ケ部務ヲ掌理シ委員ハ委員長ヲ助ケ部務ニ從事ス

委員長ハ各部委員ノ分擔ヲ定ム

委員長ハ各部委員中ニ就キ報告主任ヲ定メ其部ニ於ケル主要ナル事項ヲ十全會及北辰會ノ雜誌部ニ報告セシム

委員長ハ會長ノ名ニ於テ賓客ヲ招待スルコトヲ得但其氏名若クハ



種類ヲ具シ會長ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス

第十條 會長ニハ本校長ヲ推戴シ副會長ニハ醫學部主事ヲ推戴ス  
理事委員長ハ特別會員中ニ就キ會長之ヲ委囑ス

書記ハ理事ノ推薦ニ依リ特別會員中ニ就キ會長之ヲ委囑ス  
委員ハ委員長ノ推薦ニ依リ特別會員及通常會員中ニ就キ會長之ヲ  
委囑ス

代議員ハ各組ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

書記及委員ノ定員ハ理事若クハ委員長ノ申出ニ依リ會長之ヲ定ム

第十一條 役員ノ任期ハ一箇年トス

特別會員ヨリ成リタル役員及代議員ノ更任期ハ毎年九月トシ其他  
ハ毎年四月トス

第十二條 本會重大ノ事件ヲ處理スル爲メ協議會ヲ開ク  
協議會ハ左ノ役員ヲ以テ組織ス

會長 副會長 理事 委員長 代議員 委員

協議會ニ列スヘキ委員ノ數左ノ如シ但其選出方法ハ各部ニ一任ス

十全會 講話部二名 雜誌部三名

北辰會 講話部演說討論部各一名 語學部雜誌部各二名

漕艇部三名 其他ノ諸部各一名 計二十一名

協議會ハ會長之ヲ召集ス但半數以上出席スルニアラザレハ之ヲ開  
クコトヲ得ス

會長ハ説明者又ハ員外トシテ他ノ役員ヲ協議會ニ出席セシムルコ  
トヲ得

第十三條 本會一切ノ經費ハ特別會員及通常會員ニ於テ負擔ス

特別會員ハ會費トシテ相當ノ金額ヲ寄附スヘキモノトス

通常會員ノ會費ハ一箇年金壹圓五拾錢トシ之ヲ三期ニ分チ每一期

金五拾錢宛各學期ノ授業料ト同時ニ納附スヘキモノトス但數期分



ヲ前納スルコトヲ得

領収シタル會費ハ如何ナル事情アルモ返附セス

第十四條 本會會計年度ハ毎年九月ニ始リ翌年八月ニ終ル

本會經費豫算ハ每會計年度ノ初ニ於テ理事之ヲ編成シ協議會ニ提出シテ其協賛ヲ求ム

豫算中ニ豫算全額ノ百分ノ五以上十以内ノ豫備費ヲ設クルコトヲ要ス

豫算殘餘ハ本會ノ資金トス但資金ハ協議會ノ協賛ヲ經テ重要ナル他ノ耐久財産ニ變換スルコトヲ得

毎年度ノ収支決算ハ次年度ノ初ニ於テ雜誌ヲ以テ報告ス

本會財産ノ保管ハ會長ニ一任ス

第十五條 本會ノ報告ハ一定ノ場所ニ揭示スルヲ以テ正式トス

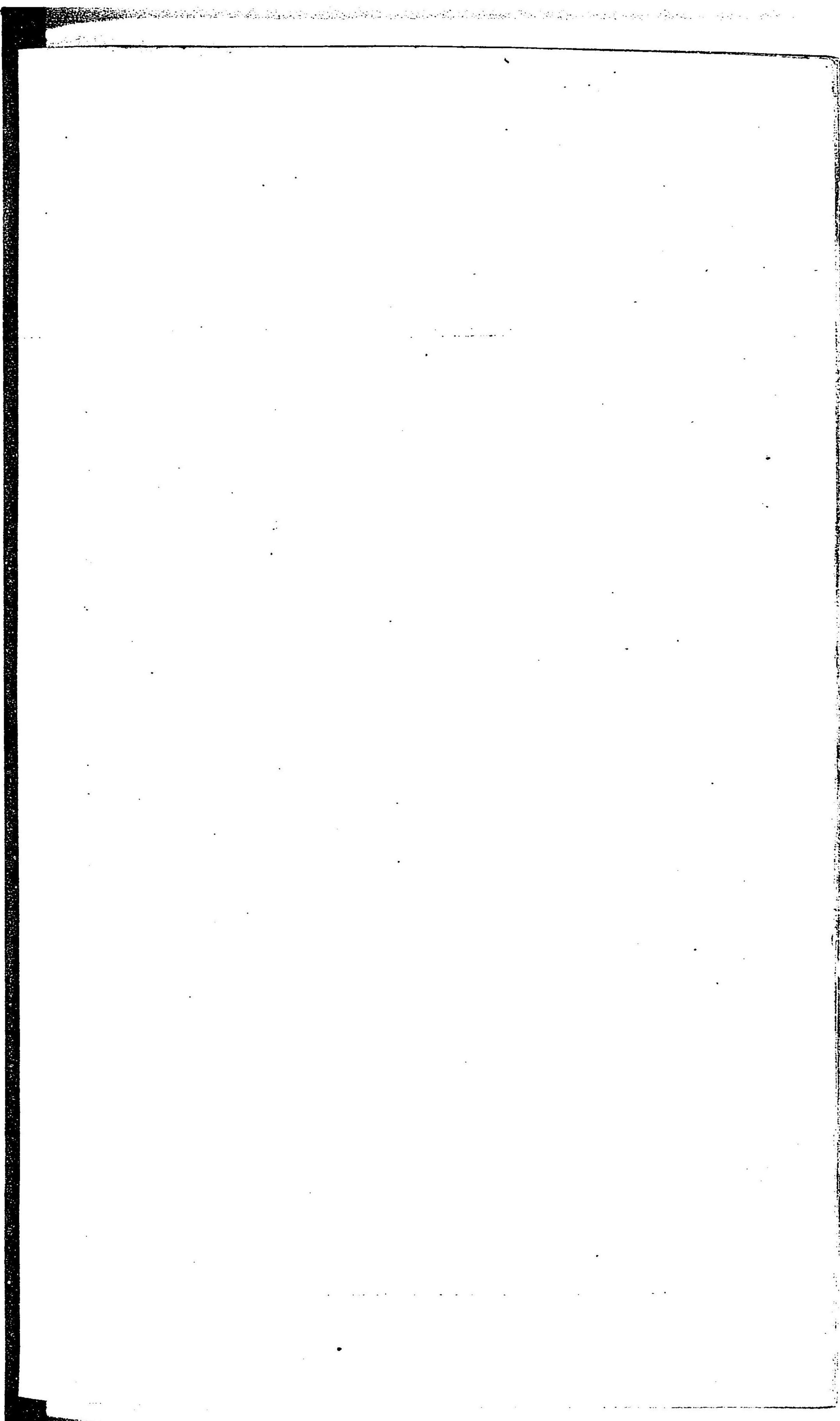
第十六條 本會則ハ會長ニ於テ改正スルノ必要アリト認ムルトキハ

理事ヲシテ改正案ヲ協議會ニ提出セシメ其協賛ヲ求ム

會長ハ本會則規定ノ範圍内ニ於テ規則ヲ定ムルコトヲ得

各部ニ於テハ本會則及諸規則規定ノ範圍内ニ於テ細則ヲ設クルコトヲ得但會長ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス

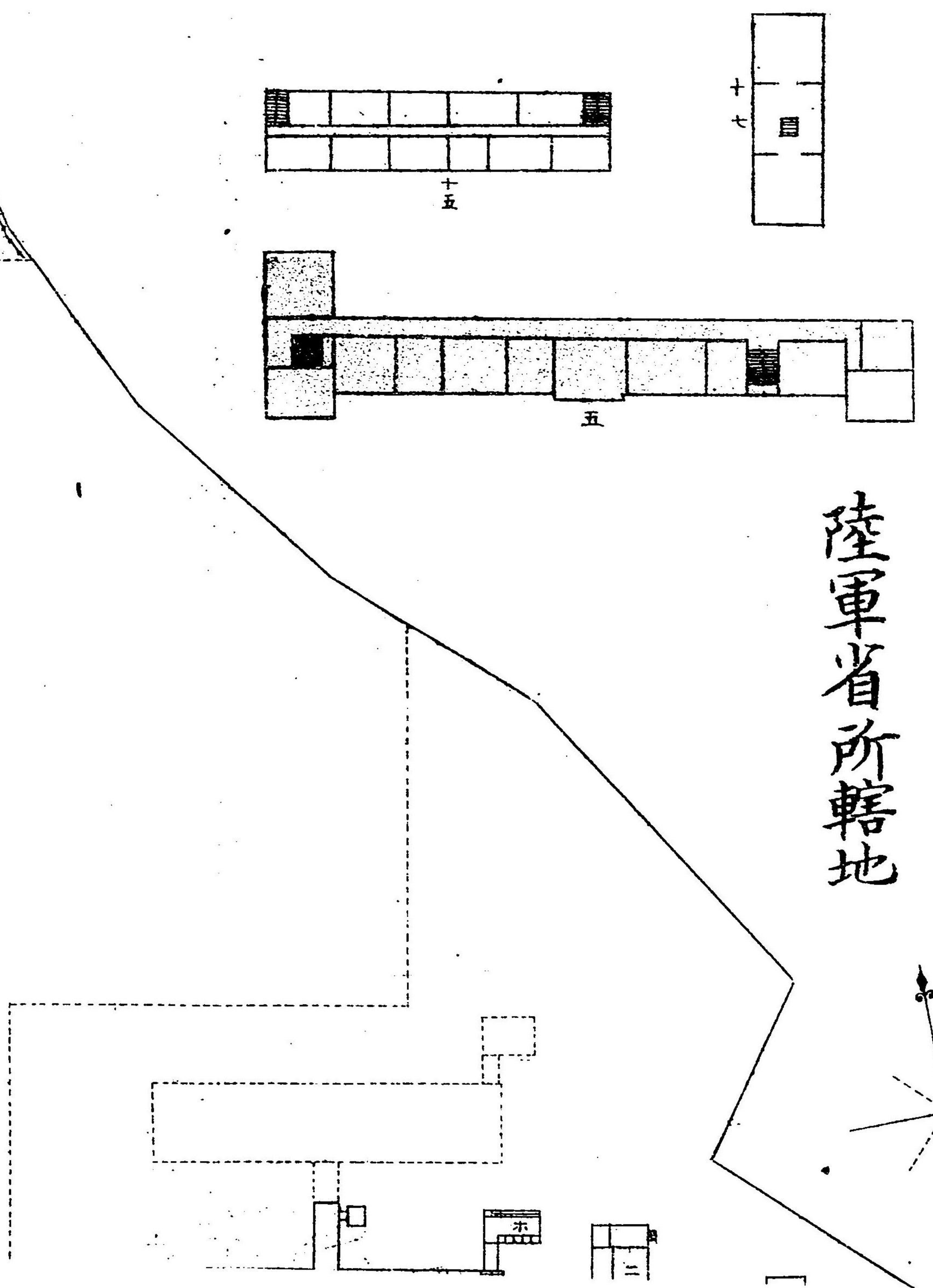




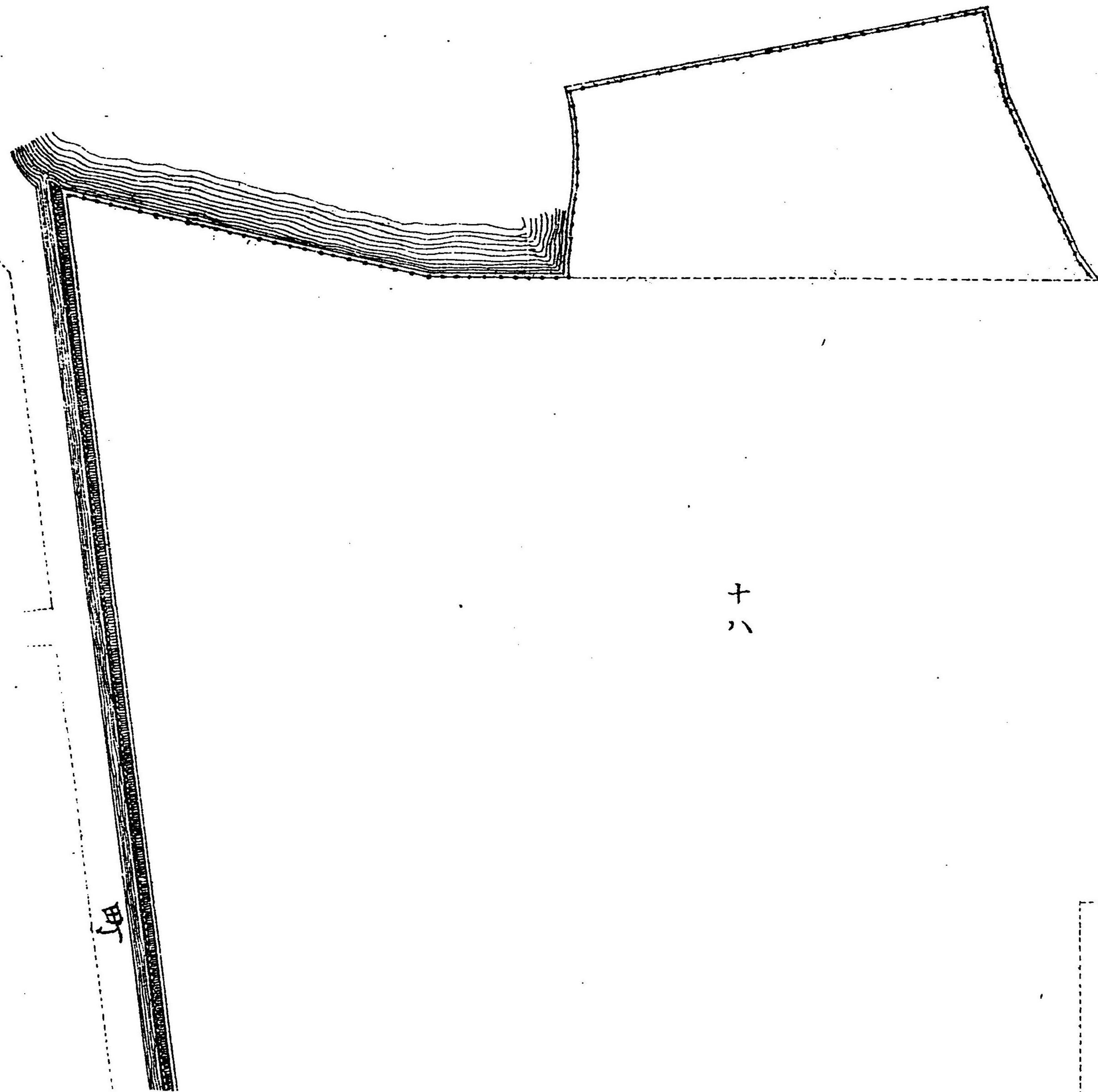


# 第四高等學校畧圖

陸軍省所轄地



尾山神社



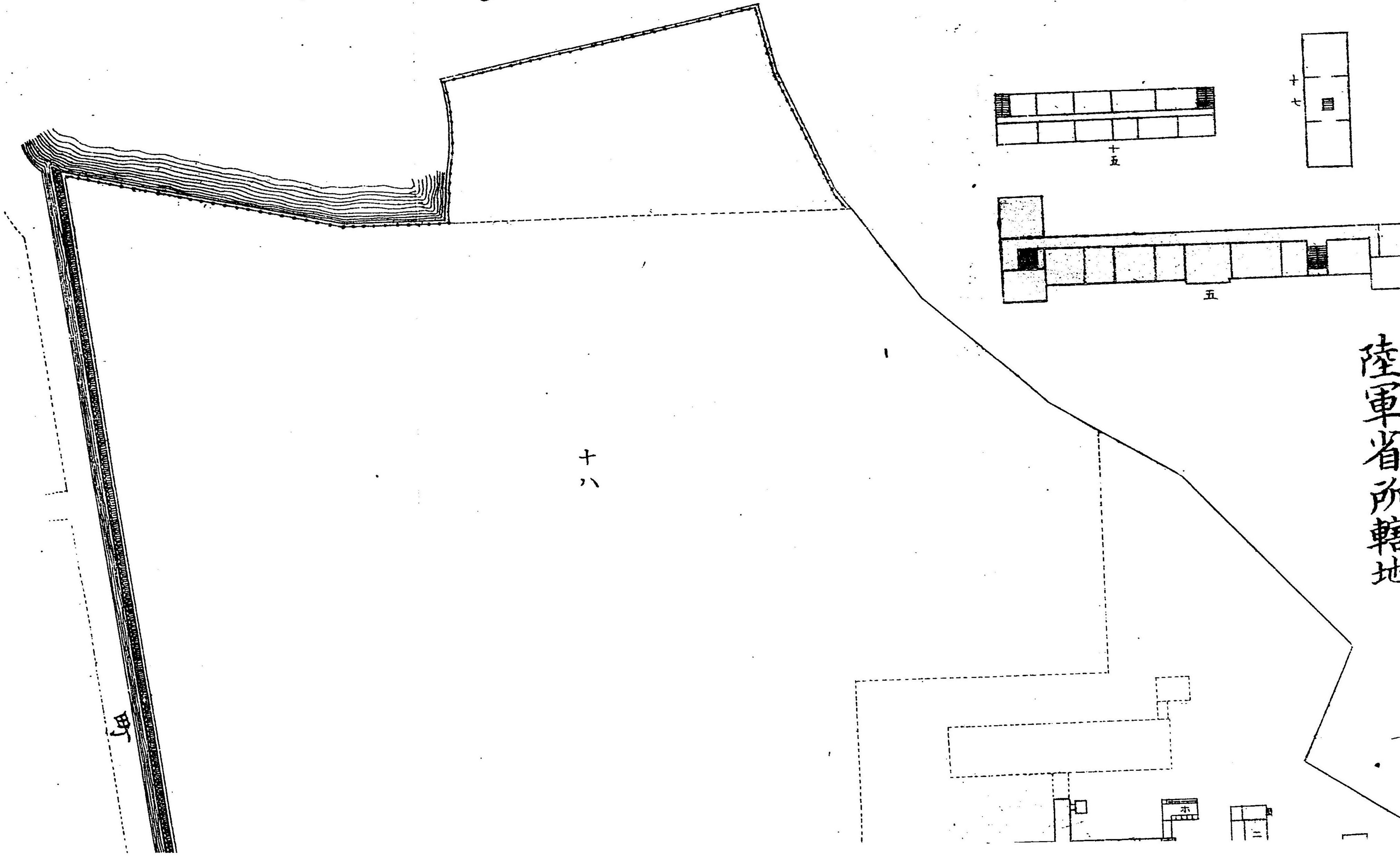
十八

- 一 表門
- 二 門衛所
- 三 車馬置場
- 四 本館
  - ハイ 教室
  - ニ 校官室
  - ロ 教務課室
- 五 本館階上
  - 教室
- 六 東館
  - ニ 圖書室
  - ロ 圖書課
  - ハ 圖書閱覽室
- 七 動植物教場
  - ハイ 講義室
  - ロ 實驗室
- 八 生徒扣所
  - ハイ 假講室
  - ハ 小使詰所
  - ニ 生徒扣所
- 九 物理化學教場
  - ハイ 物理講義室
  - ロ 全實驗室
  - ハ 全器械庫
  - ト 附屬室
  - チ 學生課室
- 十 醫學科教場
  - ハ 講義室
  - ロ 實驗室
  - ハ 藥下置
  - ニ 學生課室



尾上神社

陸軍省所轄地



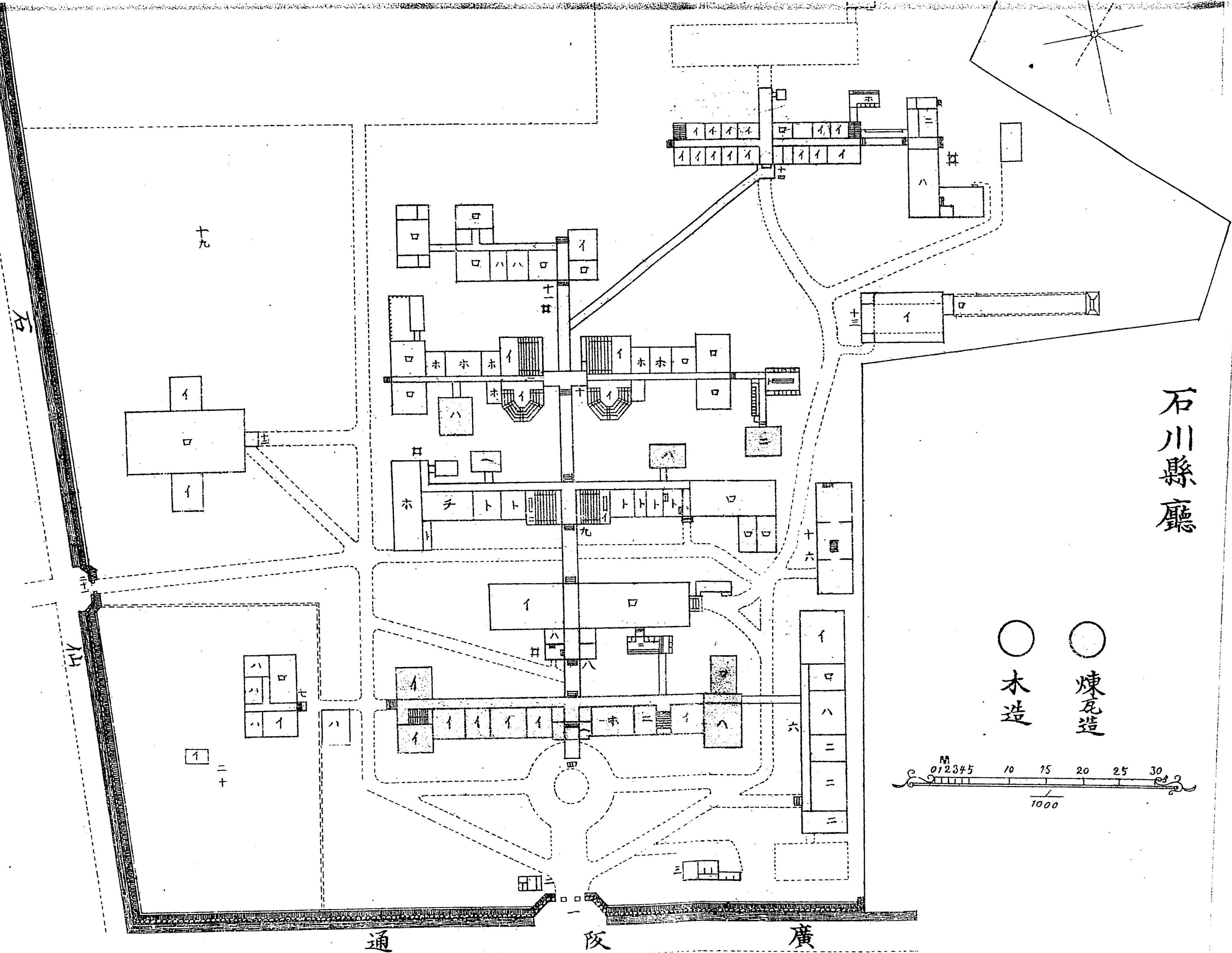
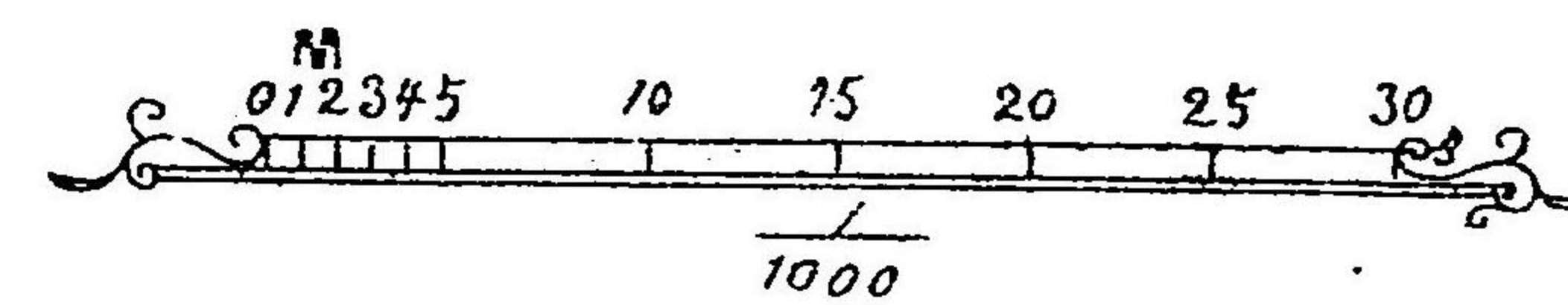
十八

- 一 表門
  - 二 門衛所
  - 三 車馬置場
  - 四 本館 イ 教室 ハ 校官室 ニ 教務課室
  - 五 本館階上 教室
  - 六 東館 ニ 圖書室 ロ 圖書課 ハ 圖書閱覽室
  - 七 動植物教場 ハ 講義室 ロ 實驗室
  - 八 生徒扣所 ハ 假講室 ロ 生徒扣所
  - 九 物理化學教場 ハ 物理講義室 ロ 全實驗室 ハ 全器械庫 ト 附屬室 チ 學生課室
  - 十 醫學科教場 ハ 講義室 ロ 實驗室 ハ 動物飼養所 ト 標本庫 ニ 器械庫
  - 十一 藥學科教場 ハ 附屬室 ロ 實驗室
  - 十二 靜勝館 イ 銃器室
  - 十三 無聲堂 イ 體操副科教場
  - 十四 時習寮(寄宿) ハ 自修室 ニ 浴室 ロ 寮務室
  - 十五 時習寮階上 寢室
  - 十六 物置場
  - 十七 物置場階上
  - 十八 運動
  - 十九 器械體操場
  - 二十 植物園 イ 溫室
  - 二十一 裏門
- 臨床講義場 ハ 内科室 ロ 外科室 ニ 婦人科產科室 ト 眼科室 ホ 病理室 ヘ 表門



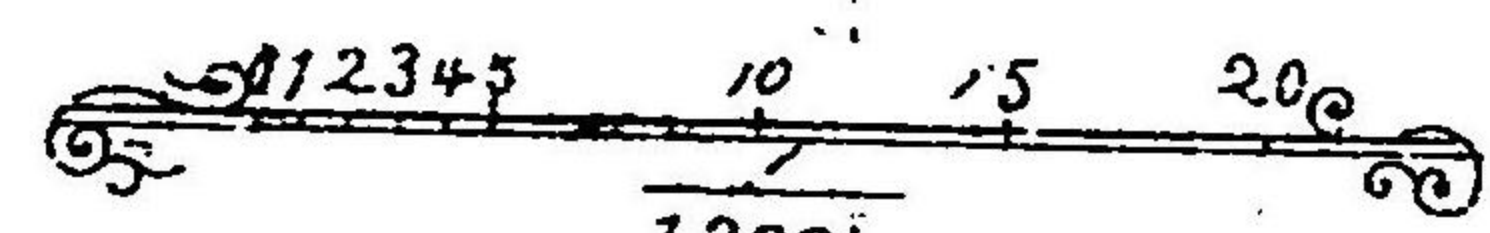
石川縣廳

○ 木造  
○ 煉瓦造

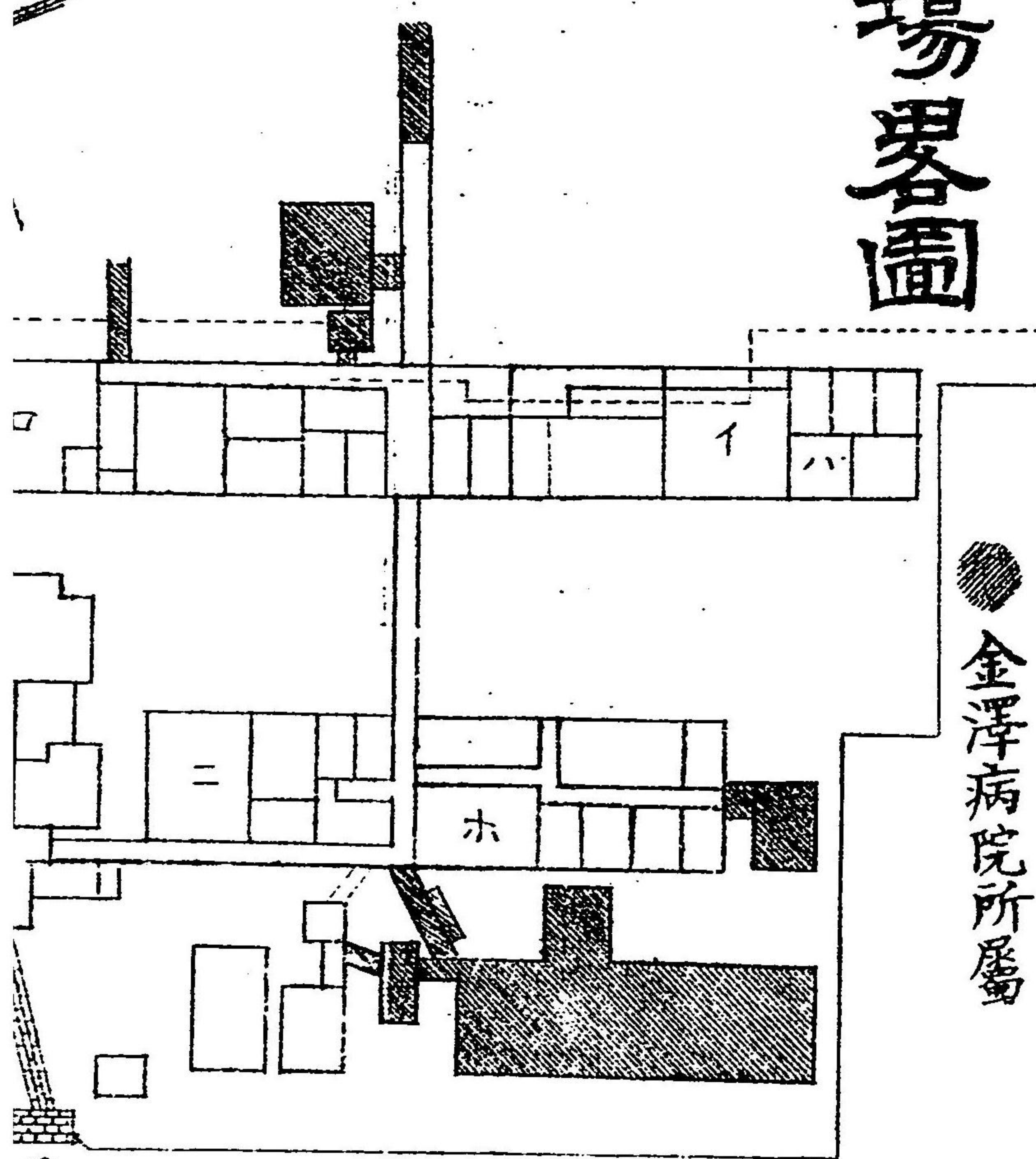


臨床講義場畧圖

● 金澤病院所屬



院病澤金



町手大

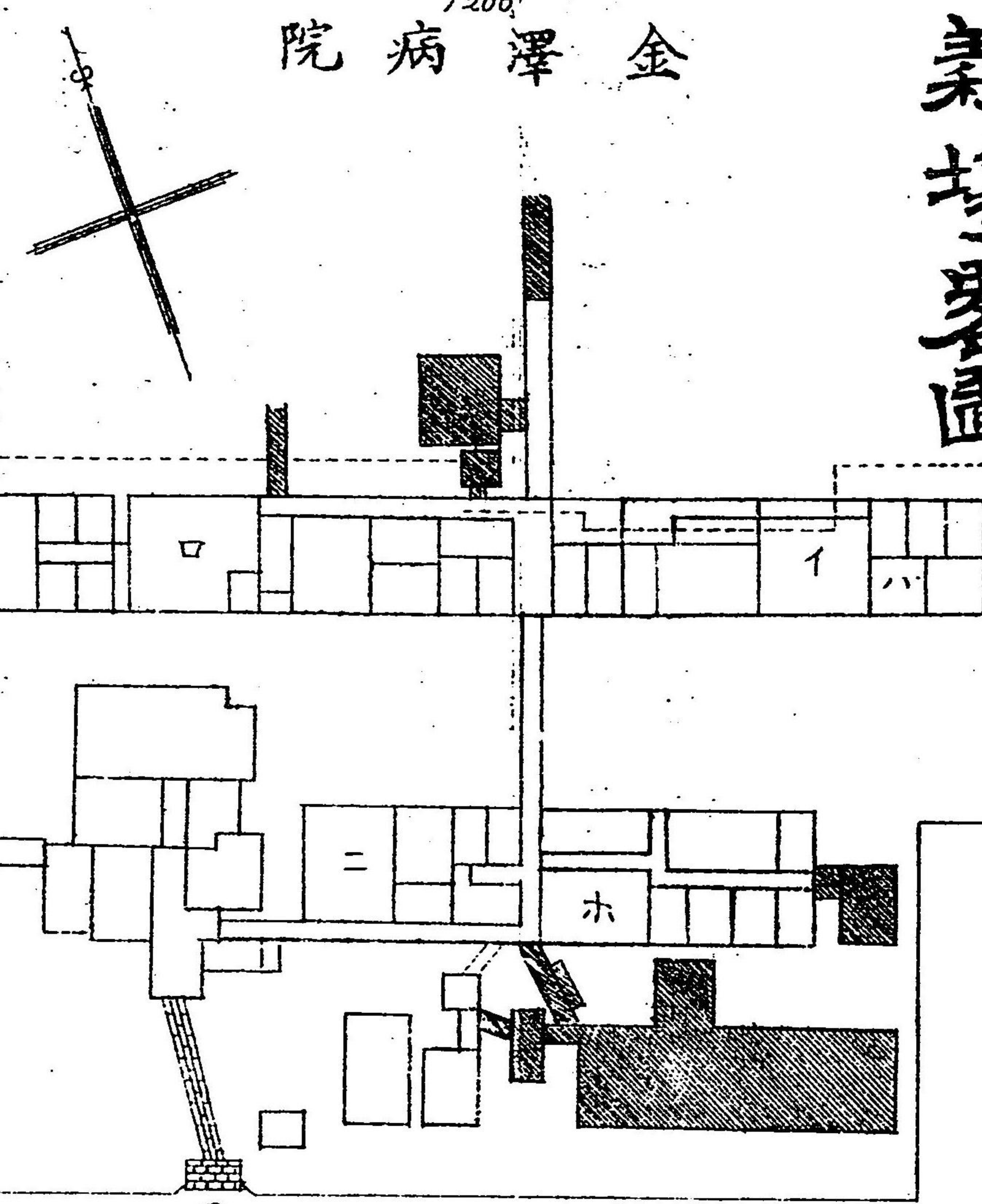
二口 校務課室  
二口 教務課室  
二口 生徒扣所  
庶務課



浴室 事務室  
小便所  
十八 運動場

教室 事務室  
生徒扣所  
校長室  
庶務課

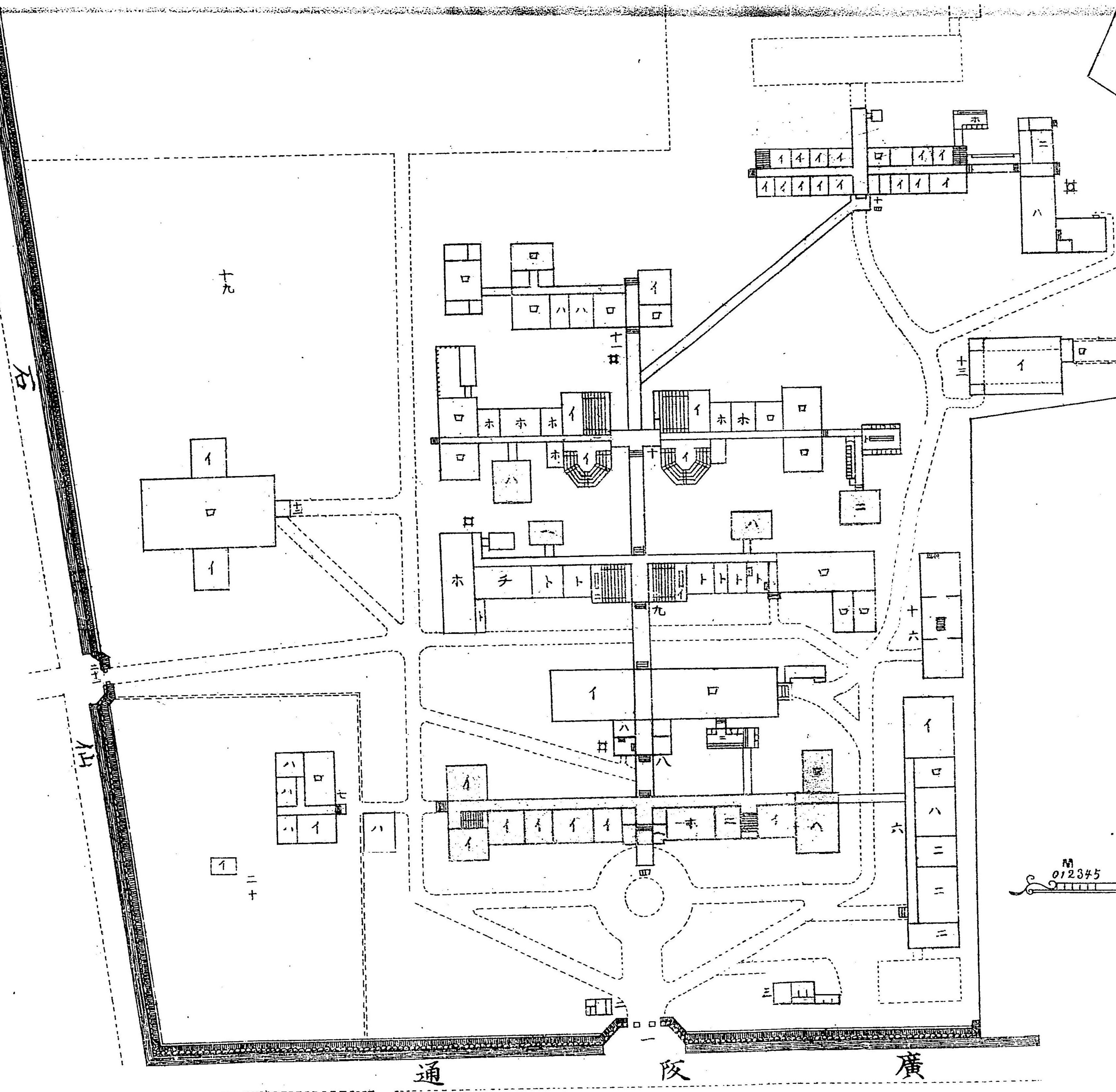
院病澤金  
7.200  
10 15 200



町手大

# 臨床講義場畧圖

● 金澤病院所屬



M 012345



明治三十四年二月十日印刷  
明治三十四年三月十四日發行

編纂 第四高等學校

石川縣金澤市尾張町八十一番地

印刷者 宇野孝太郎

石川縣金澤市尾張町八十一番地

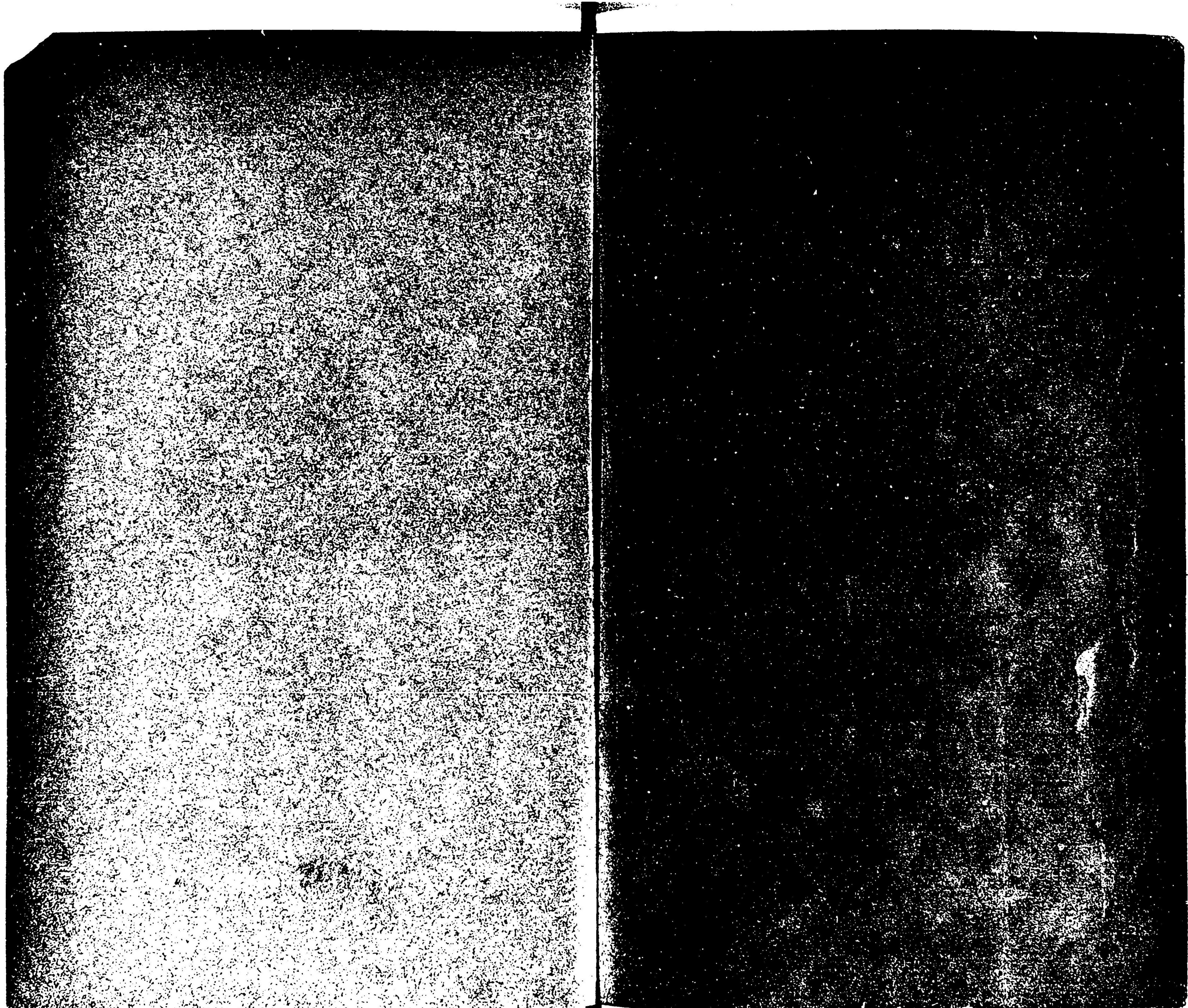
印刷所 活文堂



283
11

18/10/1911

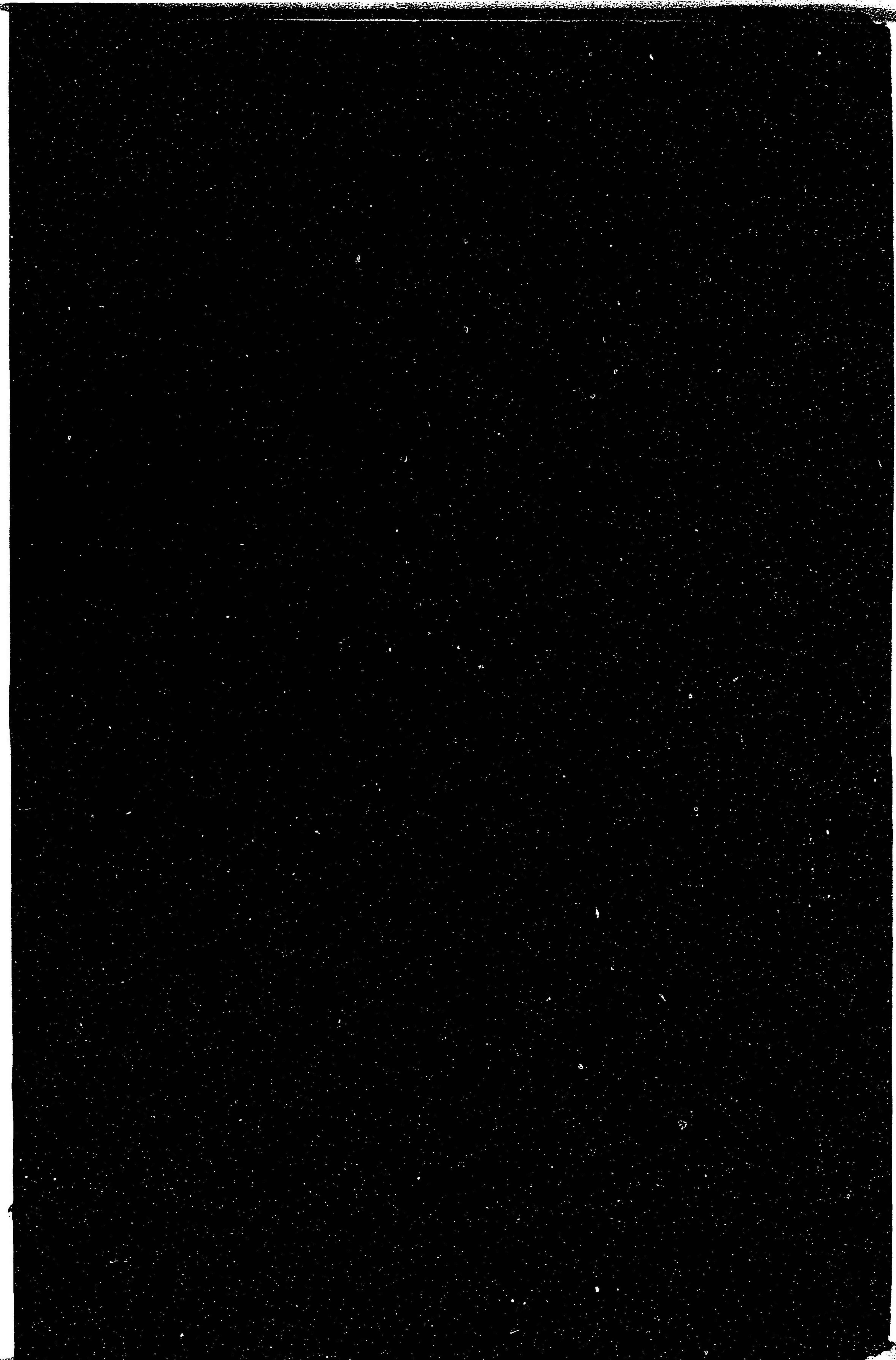






283  
別  
4







283

4



